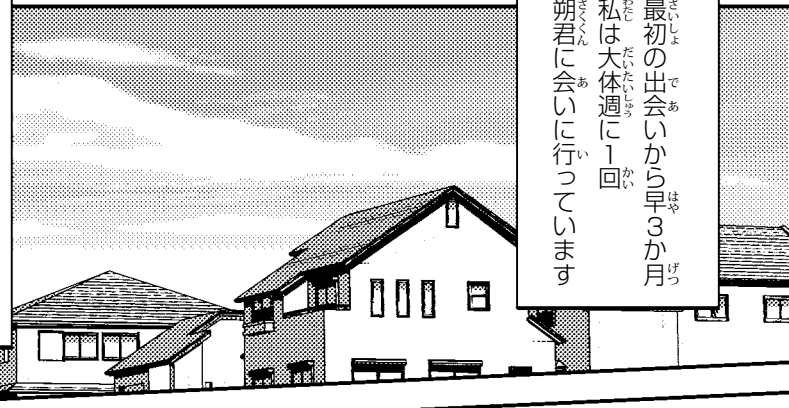


最初の出会いから早3か月
私は大体週に1回
朔君に会いに行っています

ちなみに場所は
学校から徒歩5分にある
朔君の自宅に変更されました



そーいやさあ

強いて言うなら
友達に会いに行くという
部活動しております

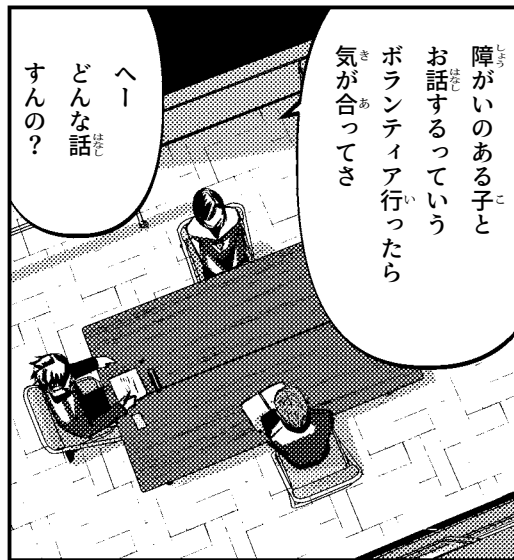
は？



部長に「岩淵に比べて
お前は……」とか怒られたん
だけと最近何してんの？

障がいのある子と
お話するっていう
ボランティア行ったら
気が合ってたさ

へー
どんな話
すんの？



ボランティア部部員
伊藤 憲太
(花音の同級生)

アベタクの話が
多いかな
私より詳しいし
面白い子だよ

なぬっ
アベタク
オタクとして
興味がわいたぜっ

っつか
なんの障がい？



全身がほとんど
動かせなくて
声も出せないの

ん？
筆談も無理じゃん
どうやって
話してんの？

意思伝達装置って
ハイテクマシンが
代わりにしゃべって
くれるの

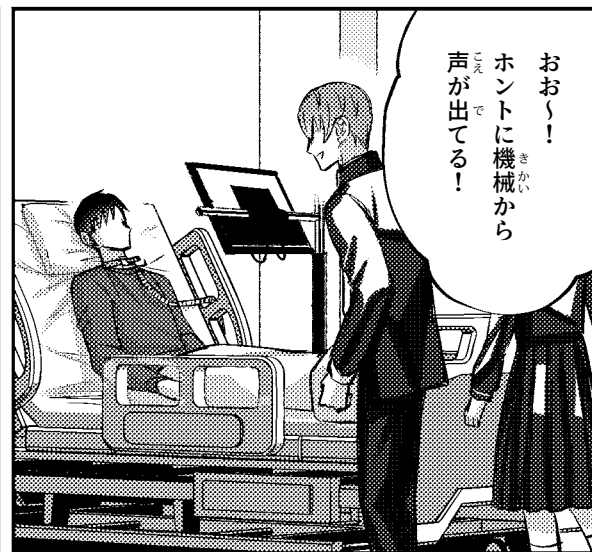
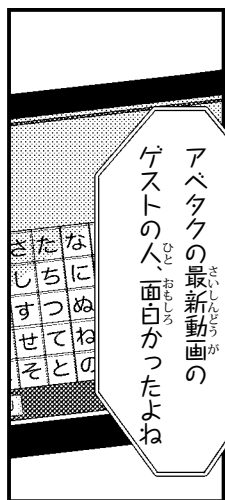
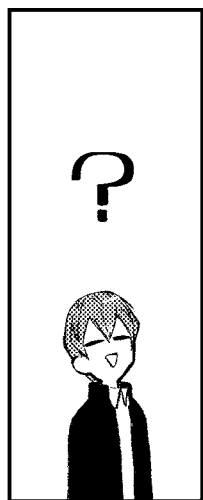
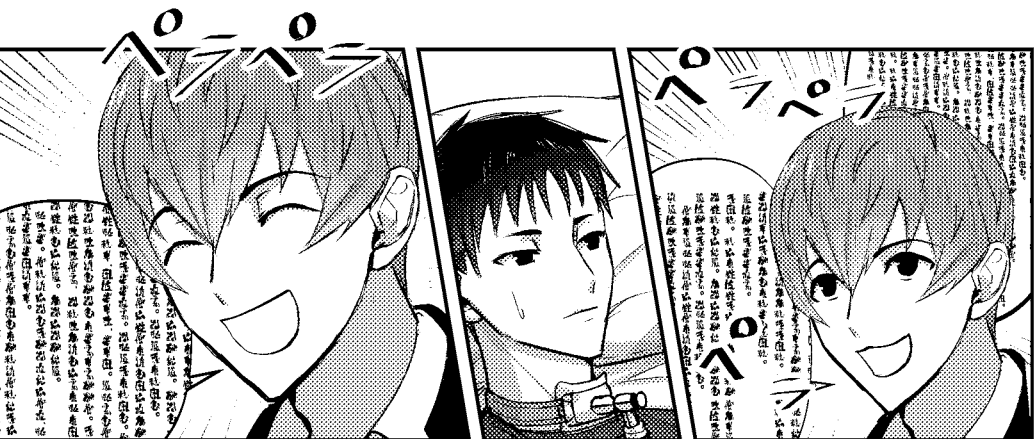


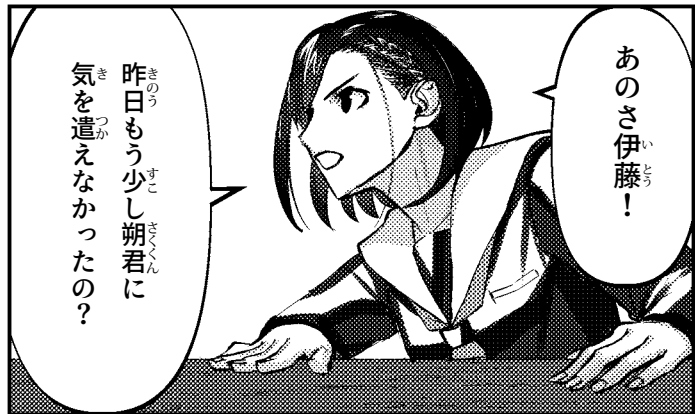
なにそれすげえ
俺も会いに行っている？

しゃべるだけなら
ゴミ拾いより
楽だしな

いいよ
ちょうど
これから
行く約束だし

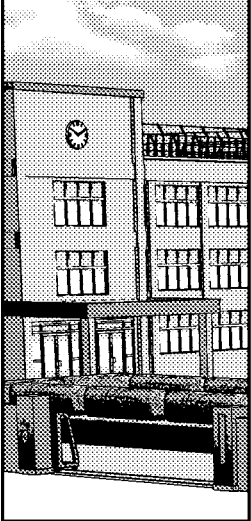






あのさ伊藤!

昨日もう少し朔君に
気を遣えなかったの?



目も合わせてくれないし
しゃべってもくれないとか
俺歓迎されてなかった
じゃん

朔君さあ
俺じゃなく岩淵と
話したかったんだよ
気を遣ってさっさと
帰ればよかったね?

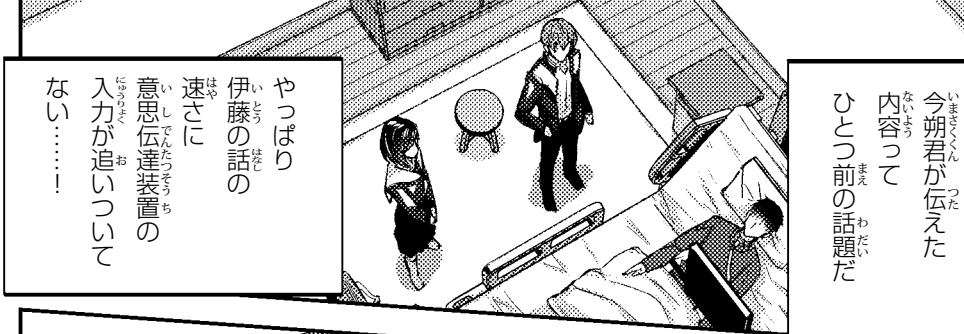
な...んじや
な...んじや



何の騒ぎだ?

部長...
実は...昨日...

なるほど...



今朔君が伝えた
内容って
ひとつ前の話題だ

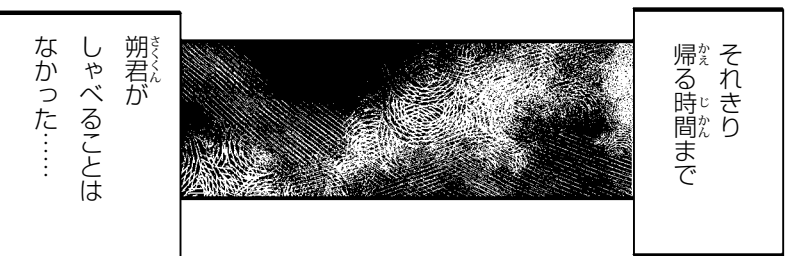
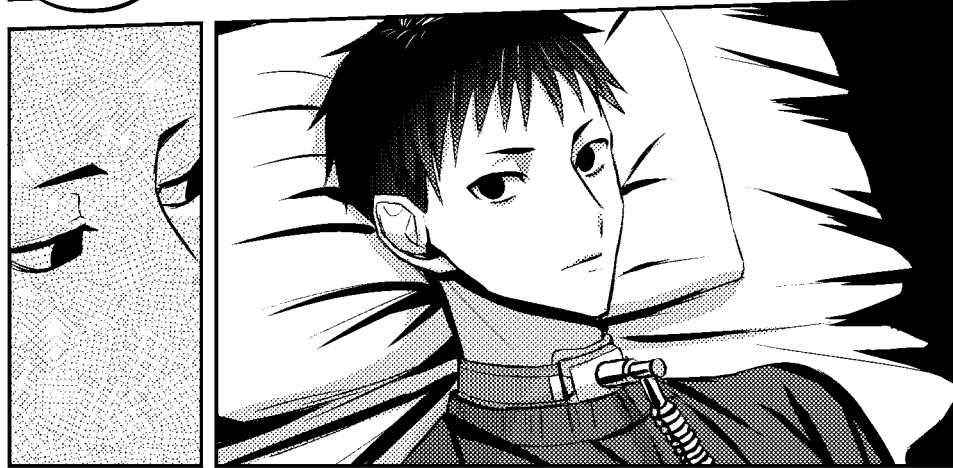
やっぱり
伊藤の話の
速さに
意思伝達装置の
入力が追いついて
ない.....!



ちょっと伊藤

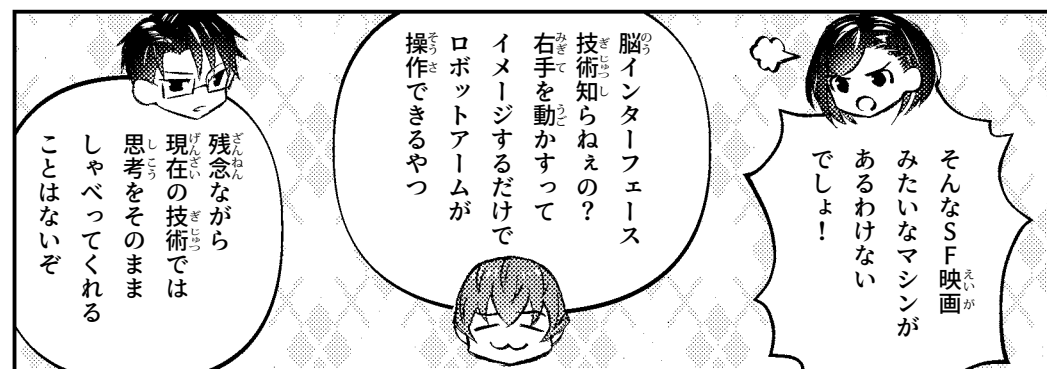
いやいや、その話
今してないし

何? 天然?
ギャグでやってるなら
面白くないけど?



それきり
帰る時間まで

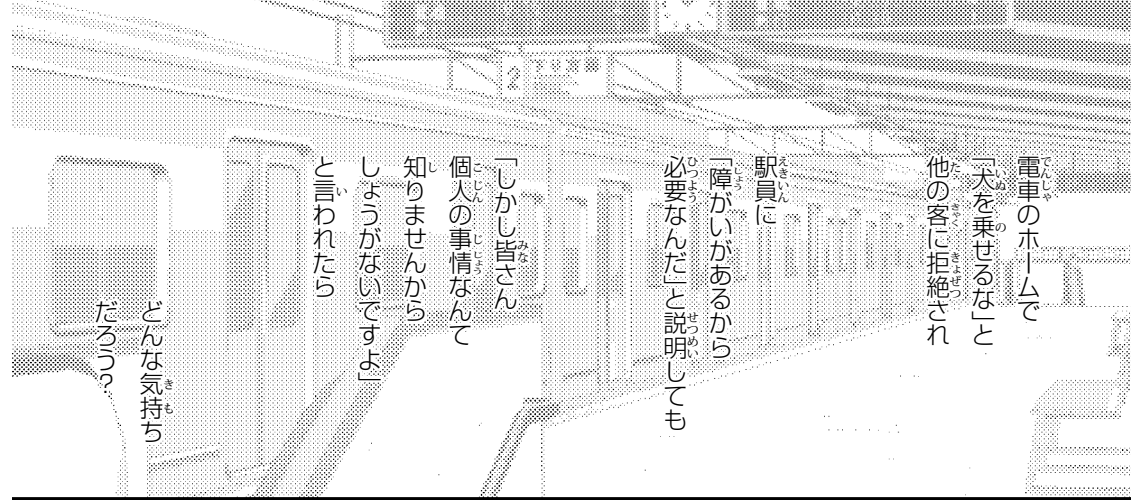
朔君が
しゃべることは
なかった...





朔君の立場
になって

もう一度考えて
みるといいよ



電車のホームで
「犬を乗せるなど
他の客に拒絶され

駅員に
「障がいがあるから
必要なだ」と説明しても

「しかし皆さん
個人の事情なんて
知りませんか
しつこがなですみ
と言われたら

どんな気持ち
だろう?



朔君の
立場か……

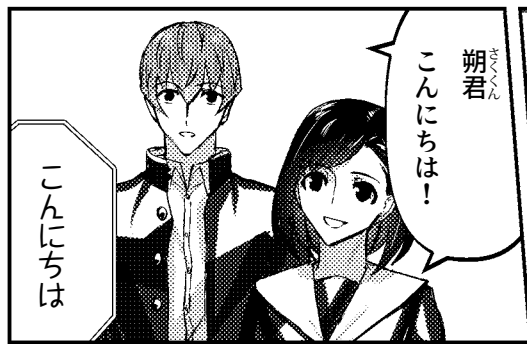
今まで
おしゃべりに夢中で
深く考えたこと
なかったな……



出かけるのが
嫌になると思う……

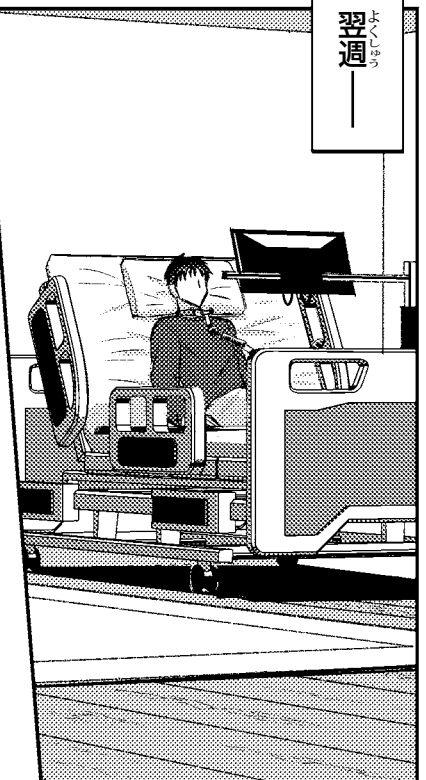
盲導犬を知らないこと
自体は悪くないが

俺たちが障がいを
「知る必要はない」と
無視することで
彼ら彼女らを
傷つけてしまうんだ



朔君
こんにちは!

こんにちは



翌週

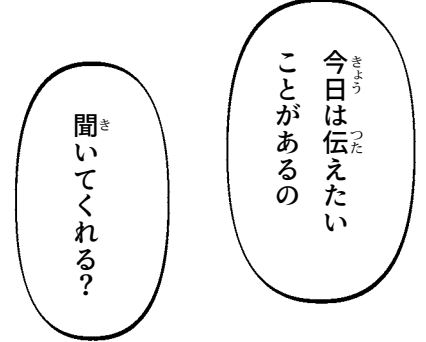


俺……
謝らないと……



今回みたいな
ことが続いたら

朔君は
人と話すのが
嫌になるかも……



今日は伝えたい
ことがあるの

聞いてくれる?

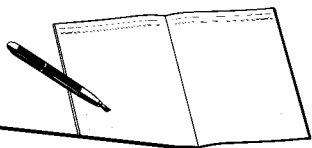
視線入力や
口文字だから
時間が
かかるんだよね

でも
朔君は違う

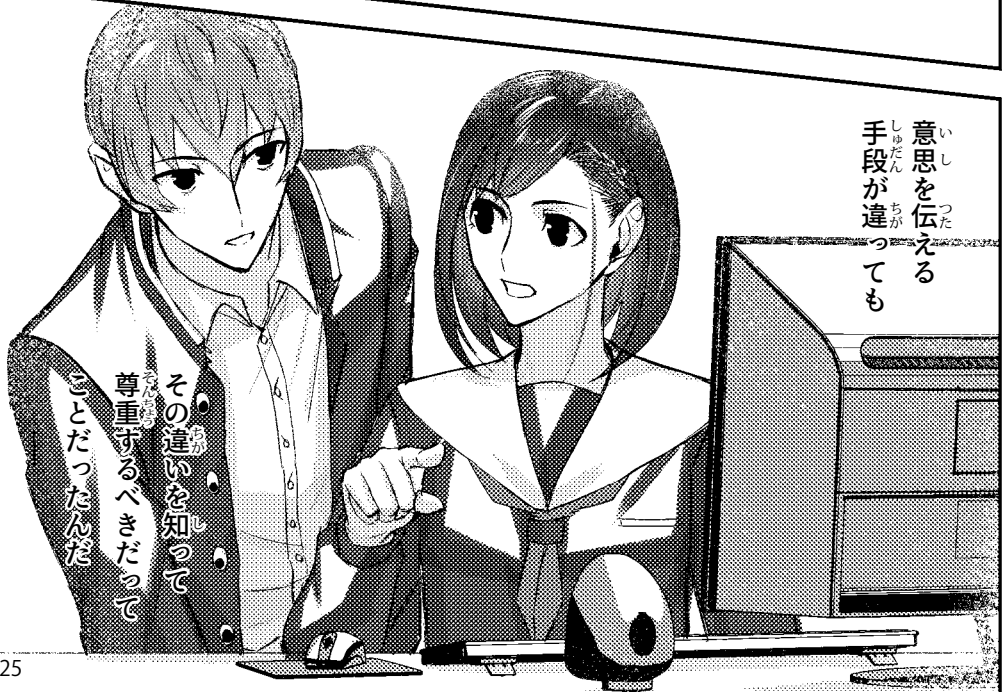
俺たちは
他人に何かを
伝えなかったら
ただ声に出したり
文章を書けば
すぐに伝わる

目に障がいがある人は
点字や音声を
耳が聞こえない人は
筆談や手話を
言葉がうまく
使えなかったら
イラストや
ジェスチャーを
使う……

大切なのは……



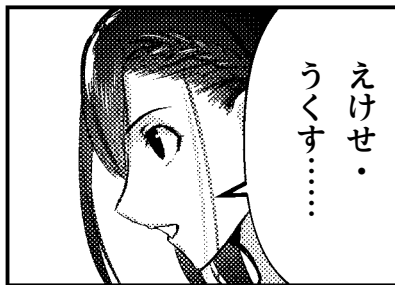
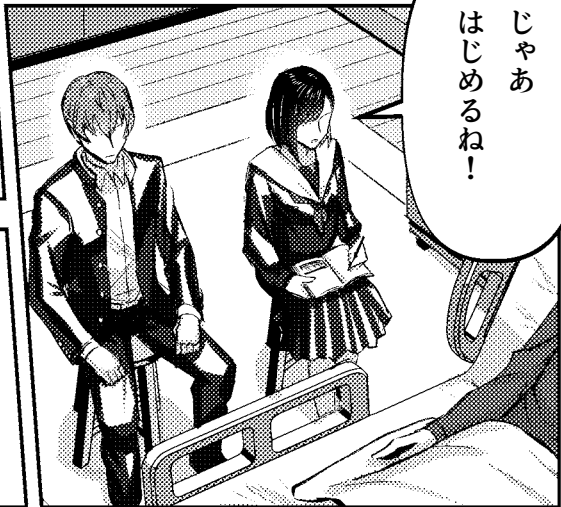
意思を伝える
手段が違ってても



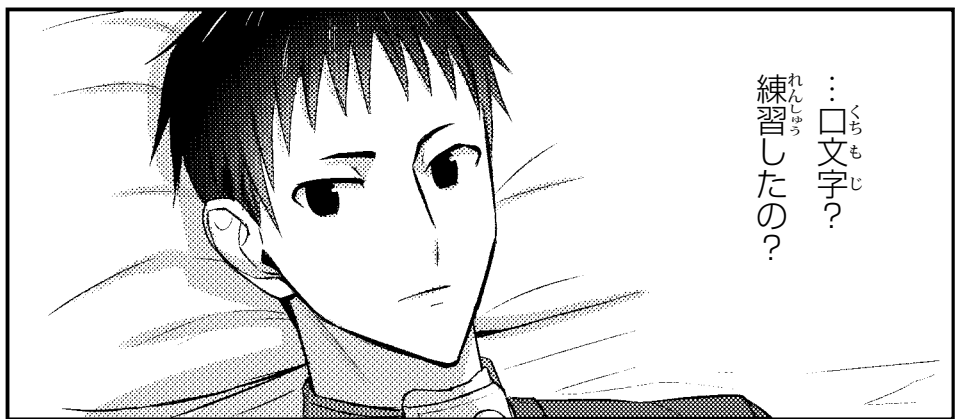
その違いを知って
尊重するべきだって
ことだったんだ



じゃあ
はじめるね!



えげせ。
うくす……



……口文字?
練習したの?



『先週はごめん』

せんしゅうは
ごめん

朔君の立場になって
反省するために
2人でいろいろ調べたよ

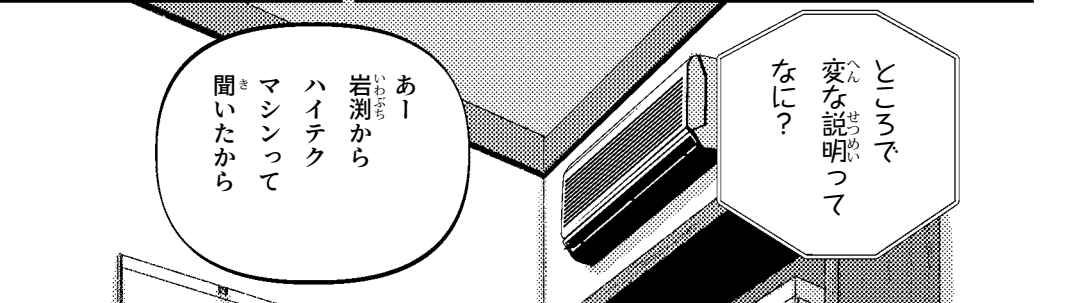
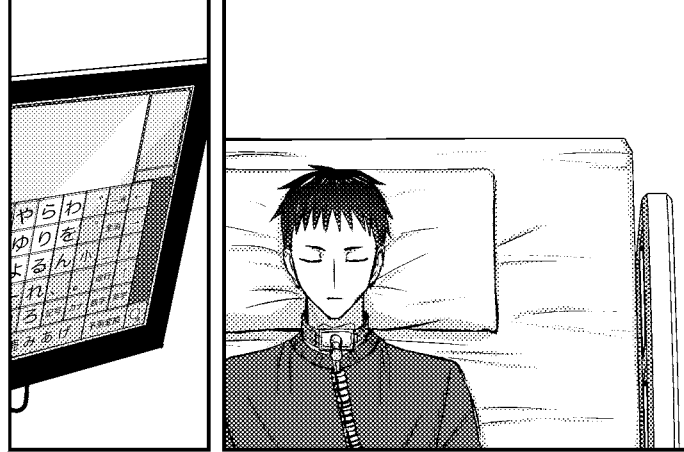
口文字も
練習してみたけど
思っていたより
大変でもどかしいって
気がついた



すごく
嬉しいんだ
ありがとう

ふたりが真剣に
考えてくれたことが

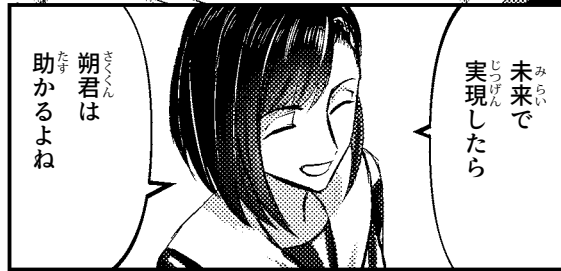
今までは
意思伝達装置を
わかってる人とはかり
しゃべっていたから…



あー
岩淵から
ハイテク
マシンって
聞いたから

ところで
変な説明って
なに？

伊藤君の反応に
どうしたらいいのかわからなくなつて
固まつた
あの場で説明
すればよかったのに
なんでわかつて
くれないんだって
子供みたいに
ふてくされちゃつて…
ごめん



未来で
実現したら
朔君は
助かるよね



思ったことそのまま
しゃべってくれる
機械って勘違い
して…

それは
困る
思ったことを
そのままだ…



謝らなくていいよ！
そもそも私が伊藤に
変な説明したせいだから！
ううん
おかげで
また同じようなことが
起こっても
うまく対応できそうだし
なにより…

あとがき

札幌市には、障害者手帳を所持している方が約13万2千人います（令和2年3月31日時点）。これは、市民およそ15人に1人の割合です。また、手帳は持たないもの何らかの障がいのある方もいます。障がいのある方は、とても身近な存在なのです。

この冊子をきっかけに、みなさんも障がいのある方のコミュニケーションについて考えてみませんか？

一人ひとりが知ること、考えることが、障がいのある方もない方も共に暮らしやすい社会に繋がります。



今回の漫画は、意思伝達装置・口文字がテーマでしたが、人により障がいの状況は様々であり、また、必要な配慮も違います。

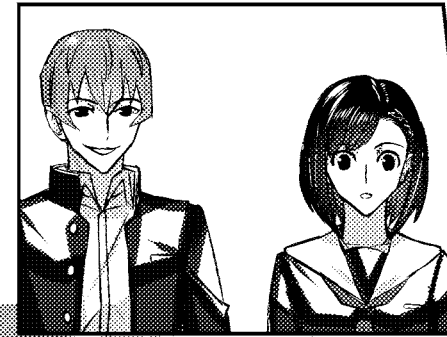
札幌市では、障がい特性に応じたコミュニケーション手段を学ぶ動画やガイドブックを作成し、市公式ホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。

障がい特性に応じたコミュニケーション手段を理解する

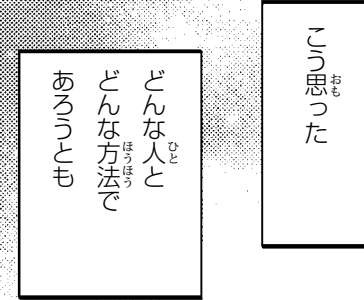
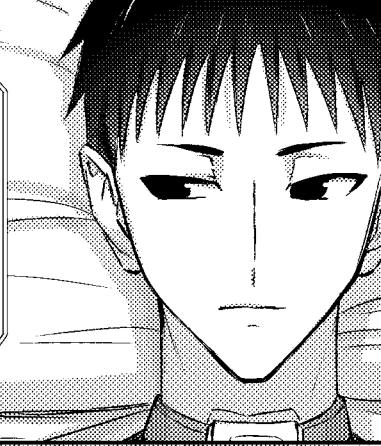


<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/communication/rikai.html>

札幌市 障がい特性に応じたコミュニケーション手段を理解する 検索

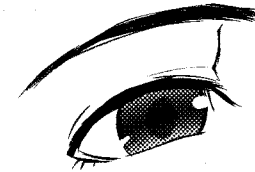


バカだった
バレルじゃん

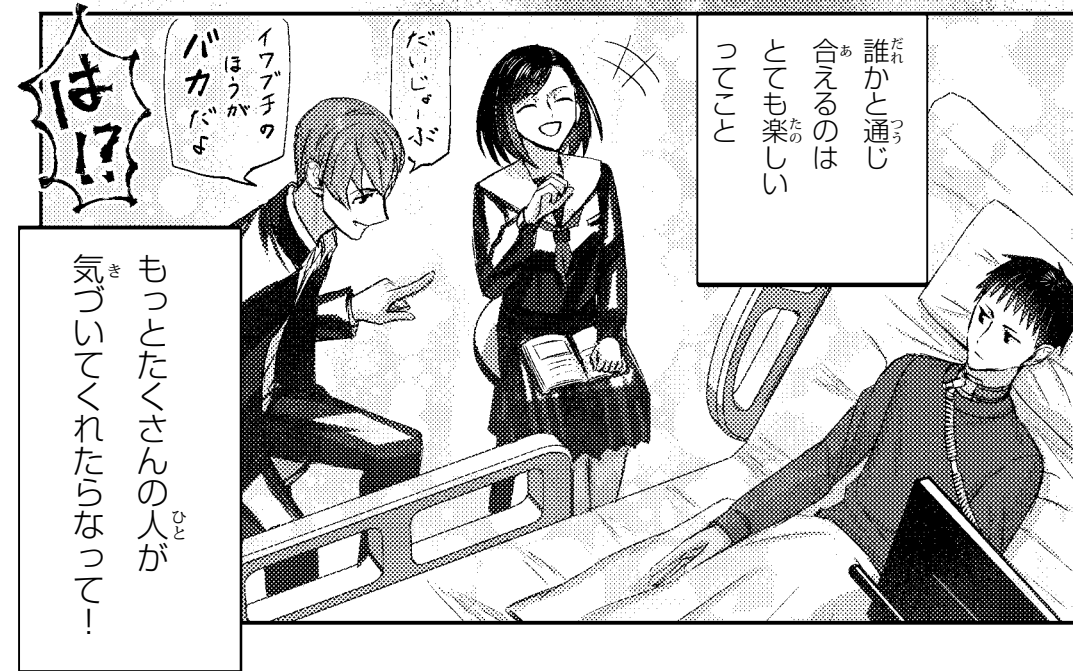


こう思った

どんな人と
どんな方法で
あろうとも



私にはそのとき
朔君が
いたすらうっほく
笑ったように
見えて



誰かと通じ
合えるのは
とても楽しい
ことだよ

もっとたくさんの方が
気づいてくれたらなって!

からだ動かす、こゑを出すことも出来ない人が、
ほかの人に自分の意思を伝えるための手段を紹介します。

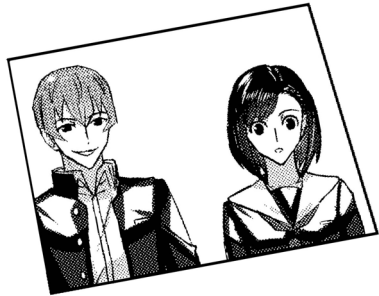


圧電素子式
皮膚表面に貼り付けて使用。
たわんだ時に発生する電圧を検知する。
目元などのほんの小さな動きでも反応する。

?



空気圧式
エアバックが押された時の空気圧の変化で反応。
手を乗せるなどして使用。



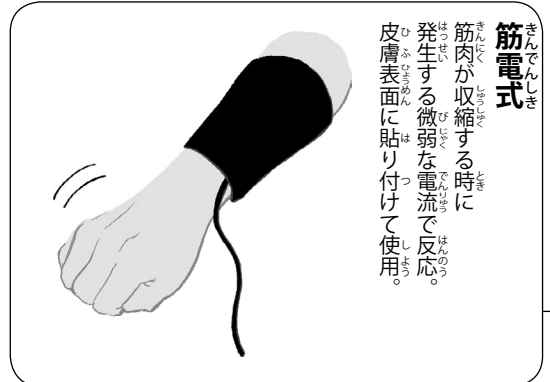
さむ寒い?

② 生体現象方式
脳波や脳の血流量等を測定し、興奮した脳波を「はい」リラックスした脳波を「いいえ」に当てはめるなどして、「はい・いいえ」を判定する。
身体を全く動かすことができず、文字等走査入力方式が使えない方が使用。
※周りからの問いかけに「はい・いいえ」の2択で答える方式であり、文字等走査入力方式のように文章を作る機能はない。



漫画に出てきたものはコレです。

スイッチは、その人の状態に合わせて選びます。
漫画に登場したものの以外にも、以下の種類があります。



筋電式
筋肉が収縮する時に発生する微弱な電流で反応。
皮膚表面に貼り付けて使用。



光電式
先端から出る光に身体の一部をあてると反応。
スイッチ本体に触れず操作が出来る。

① 文字等走査入力方式
顔の筋肉や視線の動きを感じるスイッチを使い、画面に表示された文字やシンボルを選択し、意思表示を行う。

「文字等走査入力方式」と「生体現象方式」の2種類があります。

「**重度障害者用意思伝達装置**」
大きく分けて

札幌市障がい者コミュニケーション条例について

- 札幌市は、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進し、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、平成29年(2017年)に、「障がい者コミュニケーション条例」を作りました。
 - そして、この条例にもとづき、障がいのある人がそれぞれの障がいの特性に応じた手段により情報を取得したり、コミュニケーションをしやすい環境づくりに取り組んでいます。
- ## 条例の基本理念
- 障がい者がそれぞれの障がいの特性に応じた手段により情報を取得したり、コミュニケーションをしやすい環境の整備は、以下の事項を基本理念として行います。
- 障がい者は、障がい者でない人と等しく基本的な権利を享有する個人であり、その自発的意思が尊重されること。
 - 障がい者と障がい者でない人が互いにその違いを理解し、人格と個性を尊重すること。
 - 障がい者が、可能な限り、情報を取得したり、コミュニケーションするための手段を自ら選択できること。



- 障がいの有無にかかわらず、全ての市民がその利益を享受する主体であること。
- 市、市民及び事業者が、それぞれの責務や役割を相互に認識し、連携して取り組むものであること。

札幌市障がい者コミュニケーション条例



https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/communication/jyorei_commu.html

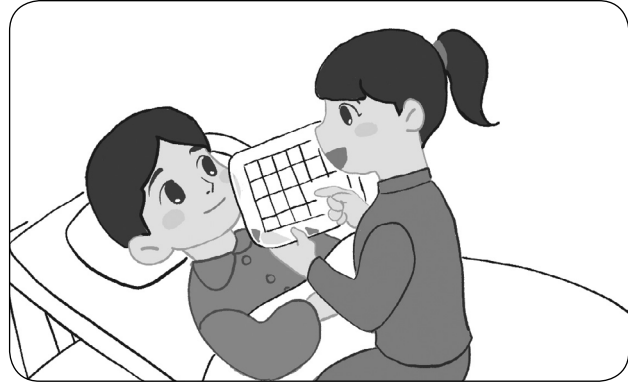
札幌市障がい者コミュニケーション条例



2 口文字

支援者と協力し、口の形やまばたきなどの合図で伝えたい言葉を表現する方法です。

- ① 伝えたい文字を発音する時の口の形を作る
 - ② 支援者が口の形を読み取る
 - ③ 口の形が示す母音(あいっえお)にしたがい、支援者が五十音表の行を読みあげる
 - ④ 目的の文字が読まれたところでまばたきなどの合図を送り、文字を確定させる
 - ⑤ ①～④を繰り返し返して文章を作る
- 例:「に」と言いたければ、
口の形を「に(母音:い)」の形にする
支援者が「いきしちに」と読み上げるので、「に」を読んだところでまばたきする
細かいルールはその人によって違う
五十音表を読み上げるスピードや口の形の読み取りなど、障がい者と支援者の間で練習や調整が必要
特別な道具がいらず、外出先でも簡単に使うことができる



3 透明文字盤

50音や数字などが書かれた透明な文字盤。意思などを伝えたい方と読み取る方の間にかざし、視線の方向により一文字ずつ読み取るために使用します。



意思伝達装置や口文字を活用して、仕事をする事もできます。

例えは:
● 会社の経営をリモートで行う
● 小説の執筆を視線入力で行う
などです。

つたわる キモチ 花咲く心

札幌市障がい者コミュニケーション条例啓発漫画
～意思伝達装置編～

令和3年3月発行

発行：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課
漫画制作●札幌視座 表紙・本文デザイン●就労継続支援ビルド



さっぽろ市
01-F04-21-151
R3-1-44